

今年も出るよ!

なごやっ子

読書カード

ただいま作成中!!!



皆さんにオススメ本を紹介してもらうため、2012年、2013年と発行した「なごやっ子読書カード」。もちろん2014年も発行します!

- 今年、図書館がオススメする本は…発行までヒ・ミ・ツ(^_-)-☆
 - 2013年よりも**配布枚数が増えて**、手に取りやすくなるらしい♪
 - オススメ本の記入欄にも**☆がついたよ**。出るか★★★★★(星5つ)!!?
 - オススメ本を紹介してくれた人には、**良いことが待っている**(はず)!!
- などなど、数々の噂が図書館内を飛び交っています(笑)

果たしてその真相は…ヨンデルーのように耳を長くして完成を待っててね。

(*)編集後記(*) ▽6月といえば…出かけるたびに、かなりの確率で傘をどこかに忘れてくる。今年は気をつけなければ(む) ▲職場近くの池のほとりには毎年きれいな桜が咲きます。それを横目で見ながらランキへ(花より…)。(か) ▽消費税が上がった昨今、いかがお過ごしでしょうか。私はデスクトップパソコン、買いそびれました…。(sh) ▲今年も暑い夏が来るのだろうか?春も終わる、そして蒸し暑い名古屋の夏…えっ?暑苦しいから言うなって(笑)(秋) ▽開店祝いのは花は商売繁盛祈願でもらってあげてるんだよ、と名古屋の人が言っていました。そうだったのか!(他県出身さと) ▲名古屋で生まれて?年、開店祝いのお花をもらったことは一度もありません。だってだって恥ずかしいんだもん(;-;) (なごやっ子千雪)

それでは次回の「ごちゃっと」をお楽しみに~♪

※表紙の画像掲載に関する著作権の許諾については、出版社の許可をいただいております。

ごちゃっと

2014年5月1日発行

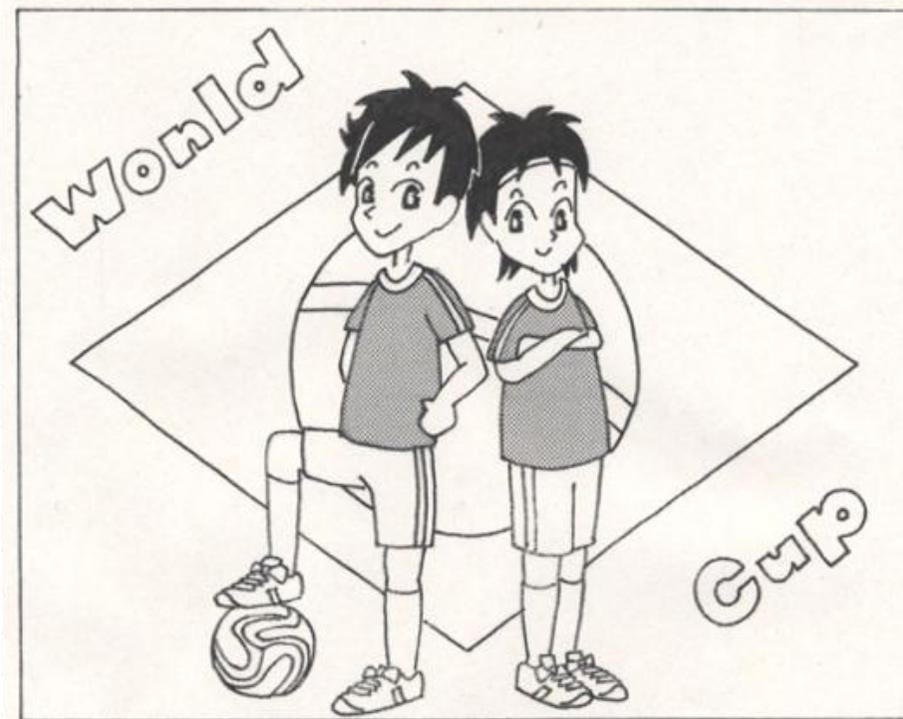
発行:名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

<http://www.library.city.nagoya.jp/>

~読書でふくらむ子どもの夢~



◆特集◆

☆Boa tarde (こんばんは) ブラジル!! ☆

☆「ごちゃっと」メンバーが選ぶ名セリフ集☆

♪この印刷物は古紙パルプをふくむ再生紙を使用しています。♪

いよいよ、6月にブラジルでFIFAワールドカップが開幕するよ！ブラジルを知れば、ワールドカップがもっと楽しくなるかも！？

ブラジルキノチンキ

🏆 国名:ブラジル連邦共和国

- 🏆 首都:ブラジリア(ちなみに6月の平均最高気温は、冬なのに25度！)
- 🏆 人口:約1億9840万人(2012年、「世界人口白書2012」)
- 🏆 世界一スポット:イグアスの滝、アマゾン川
- 🏆 世界で一番日系人が多く住んでいると言われます。
その歴史は100年以上！

(さと)家の台所にあるものでブラジル料理をつくろう！

ブラジルで人気のもちもちチーズパン『ボン・デ・ケージョ』を作るよー。
材料はタピオカ粉、粉チーズ、卵、ベーキングパウダー、植物油、塩、水、マーガリンなんだけど…(台所捜索中)…アレ？粉チーズがされてる。タピオカ粉は買ったことすらないし。…(ゴソゴソ)…あ、白玉粉発見！クリームチーズもあった～^^これでいけるかな！？
1. 水、植物油、塩、マーガリンを鍋で沸騰させる。2. 白玉粉(だけじゃ不安だったので薄力粉もプラス)に1を混ぜる。3. 残りの材料をまぜて、小さくまるめる。4. オーブンで焼いて完成♪
どれどれ味見～…はい、(か)さん、おひとついかが？



か:ん～！もちもち！チーズのかおりがふわっ…Muito Bom!
さと:みなさんも、おためしあれ～♪ (very goodの意味だよ)

参考:『どんな国?どんな味?世界のお菓子6』服部幸応/監修・著 岩崎書店

ゆる～い姿で大人気のカピバラ。実はアマゾン川流域に住んでいるって知ってた?カピバラのかわいい写真と意外な生態が堪能できる一冊。
『カピバラ』
渡辺克仁/著 東京書籍



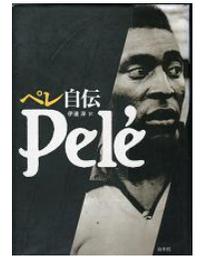
(か)ブラジルの音楽を聴こう！

ブラジル音楽の代表ともいえるのがボサノヴァ(いやいや、サンバもショーロもあるでしょ、という突っ込みはおいといて)。「イパネマの娘」だったら、タイトルを知らなくても、あなたもどこかで聞いたことがあるはず。(図書館でもCDを持ってます!)歌とギター(時にはフルート)だけの素朴な音楽だけど、都会的な洗練さを感じるボッサ。どこかヨーロッパ的な響きがあり、ブラジルの歩んできた複雑な歴史を思いおこさせます。でもやっぱり、ボサノヴァは癒しの音楽。コーヒー片手に、読書のおともに、がびったり！

参考:『イパネマの娘』アントニオ・カルロス・ジョビン/演奏 ユニバーサルミュージック(CD)

ブラジルの有名人といえばたくさんいるけれど、なんといっても有名なのは、サッカーの王様ペレ!とうに引退したものの、ブラジルのみならず、世界のサッカー界において抜群の知名度と尊敬を集める伝説の選手である。今回のワールドカップでも、開会式などできっとその姿を拝めるはず。興味ある人はこの本を。

『ペレ自伝』ペレ著 白水社



(か) & (さと) presents
Boa tarde
ブラジル!!
(ポア タルデ)
(こんにちは)



はみだし豆知識: “すべてを備える選手” “魔法の砲兵” “悪魔の化身” すべてブラジル人サッカー選手につけられたニックネームだよ。今大会ではどんなニックネームの選手が活躍するか楽しみだね!

参照:『サッカーマルチ大事典 2001-2002』ベースボール・マガジン社

本の登場人物が口にする言葉が、時に頭や心に残っていつまでも忘れられないことってありますよね?! 名セリフを集めて紹介します!

「谷川を倒すには、いま、いまいくしかないんじゃ」

将棋棋士・村山聖(さとし)の言葉。

幼少時に難病にかかった聖は、病床で将棋と出会いのめり込んでいく。13歳の時、聖はプロ棋士になるため大阪に行くと言い出す。台詞は反対する親族を前にした聖の言葉。

病により自らに残された時間のなさを自覚していた故の言である。「谷川」とは当時21歳の若さで名人となった

谷川浩司のこと。彼を倒し名人になることを夢見ていた聖はしかし、名人一歩手前で29歳の若さでこの世を去る。(sh)

『聖の青春』大崎善生／著 講談社



「この砂はみんな水晶だ。中で小さな火がもえている。」

これだけモダン(死語?)な表現を駆使した作家がいたろうか。

ここから想像される美しいビジュアルはもちろんのこと、言葉のつむぎだす静謐(せいひつ)さが作品世界を奥深いものになっている。

たくさん出版社から出ているけれど、昔読もうとして挫折したあなた、ますむらひろしのマンガ版がおすすめです。(か)

『銀河鉄道の夜』宮沢賢治／原作 ますむら・ひろし／絵 朝日ソノラマ
朝日ソノラマの出版物については、朝日新聞出版社より表紙画像掲載の許可をいただいております。



デビルバット・ゴースト
「店の花を盗む悪魔」

名古屋LOVEの米田(コメダじゃないよ)なごのが東京の学食戦争に参戦! 東京人のド胆をぬいた、なごのの必殺技がこれ!!

名古屋人ならなんのことだかわかるよね?(さと)

『8番目のカフェテリアガール

東京なごやかプロジェクト』石原宙／[著] 集英社



「お前といる時間が一番楽しい」

主人公の一止(いちと)が妻のハルに言う(言わされる?)セリフ。

一止は「24時間、365日対応」がモットーの本庄病院に勤める青年内科医。35時間勤務後に40人の患者の回診...激務です。

一見くさいセリフのようですが、一止とハルの強い絆は、とてもさわやかな気持ちにさせてくれます。映画にもなってるよ。(む)

『神様のカルテ』夏川草介／著 小学館



★名セリフ集★

「相手をわかってやることと、許すこととは別モンだからよ」

女子高生の希実(のぞみ)は、母親から紹介されたパン屋で居候している。パンのいいにおいにつられてか、パン屋の周りではいつも事件が起きる母親に対する複雑な気持ちを吐露した希実に、パティシエの弘基がかけた言葉。(千雪)

『真夜中のパン屋さん 午前3時の眠り姫』

大沼紀子／著 ポプラ社



「おまえがいなくてさびしいということは、おまえなしではいられない、という意味ではない。」

物語はざっくり言うと、中世の騎士によるロードムービー。

ただひたすら王様へ手紙を届けるため旅をする少年ティウリ。セリフは、彼が途中で出会った隠者メナウレスが、その弟子(?)に伝える言葉。

本当はさみしい、それを認めたくえで相手のことを想っているから耐える。大人だわあ...。素直で強い、こんな大人になりたい☆(秋)

『王への手紙』上下 トンケ・ドラフト／作 岩波書店



新刊紹介

『にげましよう』

河田恵昭／著 共同通信社

もしもあなたの周りで災害が起きたら、インフルエンザが流行したら、野生の熊が出没したら…まずは逃げること！どんな時にどのタイミングでどこへ避難すれば良いか、イラストと簡潔な言葉で教えてくれるよ。大切な自分の命、しっかり守ってね。(千雪)



『今さら聞けない科学の常識 3』 朝日新聞科学医療部／編 講談社

「宝くじは通し番号・バラのどちらで買った方が当選確率は高い?」「和牛と国産牛の違いって何?」「携帯電話で飛行機の計器が狂うって本当?」なんとなく知っているつもりだけど正確には説明できない、そんな科学分野を中心にニュースや日常の身近な疑問を解説した、朝日新聞連載「今さら聞けない+」の単行本化。(sh)



『医者になりたい君へ 心臓外科医が伝える命の仕事』

須磨久善／著 河出書房新社

医者には、「チームワークとリーダーシップ、どちらも必要!」とか、「諦めないことと、裏切らないことが大切!」とか、参考になる。そして、「あの時、こう思ったからこの仕事を選んだ!」と思える原点の大切さの話は、グッとくる。医者を目指していない人にも読んでほしいな。(秋)

『好きなものにはワケがある』

～宮崎アニメと思春期のころ～』

岩宮恵子／著 筑摩書房

ハクのセリフが心にしみるのはなぜ?トトロの世界に安心するのはどうして?宮崎アニメを深読みすると、思春期のころが見えてきた!まずは自分の好きな映画のところから読んでみて。自分の心の中にあるイライラやもやもやの正体がわかるかも。(さと)



『すぐに役立つ366日記念日事典 改訂増補版』

加瀬清志／著 創元社

あなたは記念日って聞くとどんな日が思い浮かぶ?この本には、1月から12月まで日付順に記念日が載っているんだけど(解説付き)…、こんなにあるとはびっくり。例えば、スマイル記念日(8月8日)、たまごかけごはんの日(10月30日)などなど…気になる人は読んでみてね。(む)



『ときめくコケ図鑑』

田中美穂／文 伊沢正名／写真 山と溪谷社

ふだんはあまり気にとめないコケ。でも、オシャレ雑貨屋さんに行くと、かわいい鉢に飾ってあったりして、何だか最近流行っているらしいコケ。堅苦しい本ではありません。ときめく要素が満載です。表紙のサヤゴケの蒔(さく)は黄色い袋に赤の縁取りがあざやかで、まるで現代アートのようなです。(か)